

令和4年9月市議会定例会 環境経済委員会資料

第95号議案 令和4年度長崎市一般会計補正予算（第6号）

〔文化観光部所管分〕

【目次】

(予算説明書頁) (資料頁)

[10款 教育費]

10・6・3 文化財保護費

1 文化財保護推進費

1 メディア芸術アーカイブ事業費	34~35	1~5
------------------	-------	-----

文化観光部
令和4年9月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
頁	款	項	目	番号		
34~35	10 教育費	6 社会 教育費	3 文化財 保護費	1-1	メディア芸術 アーカイブ事業費	千円 2,466

1 概要

文化庁のメディア芸術アーカイブ推進支援事業を活用し、長崎市清水崑展示館が所蔵するマンガ原画等資料のアーカイブ化を行い、資料を永続的に保存するとともに、研究素材として活用することで長崎学の振興を図るもの。

2 事業内容

- (1) 対象資料 清水崑マンガ原画等資料 2,000 点
- (2) 事業内容 ア 資料の高精細撮影によるデジタルデータ化（業務委託）
イ 詳細な目録作成
- (3) 事業費 委託料…2,466千円
- (4) 事業スケジュール

令和4年 6月 補助金交付申請
 同年 7月 補助金交付決定
 同年 9月 9月議会補正予算計上
 同年 10月 事業開始

撮影業務委託期間：令和4年10月中旬～令和5年2月中旬（予定）

令和5年 2月 事業完了

年月	令和4年							令和5年	
	6	7	8	9	10	11	12	1	2
メディア芸術 アーカイブ 事業	文化庁協議、交付申請、議決				原画 2,000 点を撮影・目録作成				

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 2,466	千円 2,466	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -

※文化芸術振興費補助金（メディア芸術アーカイブ推進支援事業）
（補助率：予算の範囲内で定額）

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

近年、日本のマンガが世界的に評価され、歴史及び美術資料としての価値が認められる中で、文化庁ではマンガ資料を含むメディア芸術作品の保存、公開及び活用を目的とし、アーカイブ化事業の推進に力を入れている。長崎学研究においても、長崎市出身のマンガ家で、河童マンガや政治漫画などで戦前から戦後にかけて活躍し、マンガの黎明期に重要な役割を果たした清水崑の業績の再評価、歴史上の位置付けを行うことが必要となっている。

また、当該資料は制作から50年以上が経過して経年劣化が進んでおり、資料保存の観点からも早い段階でのデジタルデータ化が必要である。

(2) 効果

ア デジタルデータ化することで、マンガ原画等資料の情報を永続的に記録し、保存・活用することができる。

イ アーカイブ化した資料を文化庁の運営するメディア芸術データベースに登録することにより、長崎学、マンガ史、近現代史の研究の発展に寄与する研究素材が提供される。

ウ メディア芸術関連のミュージアムとの研究連携を行うことで、研究の促進や情報発信の活性化が図られる。

エ アーカイブ化及び研究成果の発信により、郷土の偉人である清水崑の再評価につながる。

マンガ家 清水崑について



長崎市出身のマンガ家清水崑（本名清水幸雄/1912～1974）は、戦前から戦後にかけて活躍した。後に、日本漫画協会へと繋がる漫画集団及び前身の新漫画派集団に所属し、政治漫画、似顔絵、子ども漫画、取材漫画、似顔絵、本の装丁、舞台美術など幅広い活動を行う。特に清水の代名詞となる一連の「かっぱ漫画」は従来のかっぱ像を塗り替えたと言われ、大人向けナンセンス漫画の『かっぱ天国』は社会現象になっており、黄桜酒造、カルビー、東京都民の日のバッジなどにキャラクターとして起用された。

マンガは世情に影響を受けやすいメディアであり、清水の作品は戦前から戦後にかけて変化の著しい時代を反映していることから、マンガ史及び近現代史を明らかにする一助となる可能性を秘めている。

代表作として、『かっぱ天国』『かっぱ川太郎』一連の政治漫画、取材漫画が挙げられる。

和暦	出来事
大正元年	長崎市銭座町（今の天神町）に生まれる。
大正13年	長崎市立商業学校（現在の長崎商業高校）入学
昭和6年	長崎から上京。
昭和8年	文藝春秋社の「オール読物」などに挿絵、カットを執筆
昭和9年	新漫画派集団に参加
昭和10年	雑誌『新青年』に漫画「東京千一夜物語」を連載。のちに内田叶夢監督により映画化される。
昭和21年	文芸評論家小林秀雄、小説家永井龍男などが創刊した新聞『新夕刊』で政治漫画を描く。
昭和23年	朝日新聞に嘱託漫画家となる。
昭和26年	『小学生朝日新聞』創刊に際して、『かっぱ川太郎』の連載を開始。かっぱを主人公としたのは芥川賞作家で友人であった火野葦平の影響による。
昭和27年	『かっぱ天国』連載。大ヒットし社会現象となる。（～32年連載）
昭和29年	連続テレビ漫画『かっぱ川太郎』がNHKで放映。全861回（～31年放映）
昭和29年	アニメ映画『かっぱ川太郎』公開
昭和30年	黄桜酒造のキャラクターとして清水のかっぱが採用される。
昭和31年	カルビー「かっぱあられ」など菓子広告を手掛ける。「かっぱあられ」は「かっぱえびせん」として現在も名前を留めている。 豊田洋（現在の林家木久扇）が書生となる。落語の才能を見出し、昭和35年落語家桂三木助に紹介する。
昭和46年10月	荏柄天神社に「かっぱ筆塚」を建立。除幕式には小林秀雄、永井龍男など賛同者80人が参列した。碑文は友人の川端康成が揮毫
昭和46年10月	長崎のタナカヤにて「長崎のくんちを遊ぶかっぱ展」開催
昭和47年5月	長崎のタナカヤにて「長崎の春秋を遊ぶかっぱ展」開催
昭和47年10月	長崎のNBCアートギャラリーにて「長崎の行事を遊ぶかっぱ展」を開催
昭和49年3月	死去
昭和49年10月	デザインを担当した東濱町竜宮船が初奉納される。
平成4年	長崎大水害を偲び中島川公園内に「ぼんたくん」の銅像が建立
平成13年	清水崑展示館開館 銭座小学校のカッパの壁画「なかよし」設置

清水崑展示館及び収蔵作品概要

1 清水崑展示館の概要

市指定史跡「中の茶屋」内の史跡内建造物を活用し、長崎市出身のマンガ家清水崑のマンガ原画や美術作品等を所蔵、展示する。

- 開館日 平成13年11月1日
- 所在地 長崎市中心島1丁目4番2号



2 収蔵作品の概要

① 似顔絵

清水がまず頭角を現したのは似顔絵作品からであった。清水は『一筆対面』『人物花壇』など当時の著名人へのインタビュー記事と似顔絵を描く連載をもち、書籍化されている。清水は、対象の外面の特徴を捉えるとともに、内面をあわせて表現するように作品を描いている。

② 政治漫画

1946年に友人で文藝評論家の小林秀雄と小説家の永井龍男から、新しく発行される『新夕刊新聞』への執筆依頼がある。清水はここで政治漫画を描くようになり、その後、朝日新聞に引き抜かれた。サンフランシスコ講和会議締結の際には近藤日出造（読売新聞）、横山隆一（毎日新聞）等と共にアメリカに派遣され取材を行った。清水崑展示館の作品は昭和20年代のものが多く見られる。

③ 『かっぱ天国』マンガ原画

『かっぱ天国』は『週刊朝日』に1953～58年まで連載された、人間味溢れる河童たちを描いた大人向けのナンセンスマンガである。当時大きな人気を博し、宝塚でのレビュー化やカルビーの「かっぱあられ」（後の「かっぱえびせん」）、黄桜酒造、東京都民の日のバッジとして採用され、多くのグッズが作られるなど、現代でいう社会現象を巻き起こした。原画では、コマ割りが4、8、10コマの形式で見られる。

④ 『かっぱ川太郎』マンガ原画（連続テレビ漫画、コマ割り）

『かっぱ川太郎』は1951年に小学生朝日新聞に連載されたのが始まりである。その後、NHKで1954年2月4日から1956年7月31日まで夜7時台にほぼ毎日放送され、その回数は全861回にのぼる。その後も「かっぱかわたろう」（『2年の学習』、学習研究社）など断続的に連載が見られる。

清水崑展示館に残る原画は、小学生朝日新聞時代、NHK連続テレビ漫画時代、その後の雑誌連載時代のものが残り、形式もコマ割り漫画とA3サイズの紙に1コマが書かれたものなどが見られる。

⑤ 『子守の合唱』マンガ原画

1954年に『朝日新聞』に100回連載された子ども漫画。清水曰く実験的なマンガであった。

⑥ 『かっぱ放題』マンガ原画

「私は〇〇魔」ではじまる、クセのあるかっぱたちのナンセンス漫画。11コママンガ形式。『週刊漫画TIMES（芳文社）』に連載。

⑦ 『かっぱ源氏』マンガ原画

源氏物語の各話をコメディ調にオマージュした作品。『小説新潮（新潮社）』に連載された。清水崑展示館に残る作品はカラーで描かれている。

⑧ 取材漫画（演劇、野球、落語など）

清水の作品の中には、演劇や歌舞伎、野球、落語、相撲などの取材漫画が見られる。人物はもちろん、会場の様子や舞台のワンシーンを描き、説明となる文章を添える形となっている。

⑨ 掛け軸

かっぱ漫画、似顔絵、政治漫画などを張り交ぜ軸仕立てにしたもの。文字などから、清水の存命時に制作されたと考えられる。

⑩ 長崎の年中行事を遊ぶかっぱ（絵画、屏風、色紙）

清水は1972～73年にかけて、長崎の年中行事を遊ぶ河童たちを描いた個展を長崎市内で3回開催しており、清水崑展示館にもこの時に描かれた作品が複数収蔵されている。なお、本個展で販売された作品が、長崎市内の店や個人宅にも残されている。

⑪ 題字、カット

漫画コーナーの題字やカットなど。多様なサイズが見られる。

⑫ その他

書籍類、かっぱグッズ、のれん、風呂敷、油彩画など。